

2019 卒業制作／研究 対象者向け 都市デザイン研究室説明会

① 4/11木 ② 4/16火 ③ 4/19金 12:20 - 12:50 @ 906



都市デザイン研究室

都市デザイン研究室は、都市の環境及び空間を感受し、構想し、設計する、つまり実空間に基づく実践的な都市デザイン力の育成に力を注いでいます。自主性を重んじる我々は、研究テーマの設定を学生各自の関心に完全に委ねます。下に例を挙げる過去の研究テーマはあくまで参考です。自分自身が納得のいくテーマを探り当てるところから、都市デザイナーの第一歩となる卒業制作・卒業論文の昇華まで、新体制の教員一同と共に走りきりたい学生を歓迎します。

【 過去の主な卒業制作／論文 】

●：学会等出展作品、受賞論文・作品

≫ 卒業論文

- 「過疎地域の持続に向けた移住システムの創発プロセスに関する研究」：徳島県伊座利地区を対象に各主体のヒアリングから移住システムを分析。
- 「「露店市」の開催空間保全のための空間特性把握とデザイン提案」：露天市の現地調査を通じ、開催空間保全のデザインガイドラインまで提案。
- 「「地域景観像」の形成過程に関する研究—国立市大学通り周辺を事例として」：国立を事例に各主体の景観イメージを分析。
- 「多摩田園都市開発における非駅前拠点計画の変遷と現状」：田園都市開発の計画史を調査し、非駅前拠点”ビレジ”等の構想意図と以後の変遷を分析。

≫ 卒業制作

- 「在郷でありなす まち庭」：地方都市近郊にある在郷町を対象に詳細な分析から在郷町の空間構造と資源を活かして、空間再生を提案。
- 「「沁透街巷」-台湾台南市における都市空間の漸進的更新設計」：台南の空間構造に着目して、その生活空間の向上による都市更新を提案。
- 「田無エンノウ住区-土地と暮らしの農を通じた再編-」：農道から準郊外の地域構造を再解釈し、農のある生活と駅前空間とそれを支える仕組みを提案。
- 「十二社半日常保養池」：かつて西新宿に存在した景勝池を復活させ、オフィスとホテルの中間的な役割を持たせた新しい保養所群を提案。



教授

宮城俊作 SHUNSAKU MIYAGI

≫ 都市環境デザイン、景観設計



准教授

中島直人 NAOTO NAKAJIMA

≫ 都市デザイン、都市計画史、都市論



助教

永野真義 MASAYOSHI NAGANO

≫ 都市デザイン、建築設計

連絡先: nagano@ud.t.u-tokyo.ac.jp

※ 右記日程以外を希望する人、個別に相談したい人はどうぞ

都市デザイン研究室は常に実空間を意識して保全・継承・創造に取り組めます。都市部はもちろん、地方都市や集落、時には海外も含めて、全ての都市形態にアプローチします。あらゆる都市空間は歴史の産物であり意味・意図・意思が蓄積されています。それらを洞察するためには、まちに飛び込むことが重要です。フィールドワークやヒアリング、ワークショップや社会実験を行ったり、集めた図面や文献を都市空間と照らし合わせたりを通じてまちの個性のルーツを探ることで、守るべきもの・変わりつつあるもの・創っていくべきものを都市空間から教わるのです。私達はこれを都市空間の「構想力」と呼んでいます。この「構想力」にデザイナーの経験と「創造力」を加え、市民・行政・企業・専門家の全員が共有できる都市ビジョンを発信することを目指します。建設的な議論や伝える技術も必要となります。そういった実践を理論化し、積み上げ、手法化するデザイン論の確立も重要な役割です。

